

福島大学学術機関リポジトリ

機関リポジトリの目的・特徴

■学内で生産化される研究成果の一元的管理と発信

本学の学術研究活動により生産される教員の学術研究論文、学部(学類)や総合教育研究センターをはじめとする各センターで所蔵する研究成果や資料を一元的かつ恒久的に収集・保存し、広く国内外に発信する。

■現職教員支援

地域と連携した教育指導研究成果、教育臨床研究に関する成果、教員の養成・研修に寄与するための研究・事業成果は現職教員研修に効果的に使用されており、福島県教育センター、県教育委員会、及び地域をはじめとする教員の自主的な研究会などから提供要請が高い。これらの成果を発信することで現職教員支援に寄与できる。

■授業実践映像の活用

教育指導と教育臨床に関する総合的な教育実践研究の推進を目的として、各教科に関わる授業実践映像を記録し、多数のコンテンツを保有しており、これらのコンテンツを一元的に管理して、学術機関リポジトリと連携した VOD システムを構成して配信することで、授業研究・教材開発への活用を図ることができる。

期待される効果

日本はもとより、世界中の多くの学術機関による学術機関リポジトリの構築が進むと、リポジトリのネットワークが形成され、無料でアクセスできる学術論文等が大幅に増加すること見込まれる。また、大学で生産された学術情報への統一的なポータルとして機能し、利用者はリポジトリにアクセスすることにより大学から発信される研究成果を一元的に入手でき、その活用を図ることができる。その結果、大学の社会に対する説明責任を果たすことが可能となる。

取り組みの成果

学会誌論文261、紀要論文2,031、科研費報告書23、教材研究177の電子化作業を終了。

映像資料提供に向けた検証課題

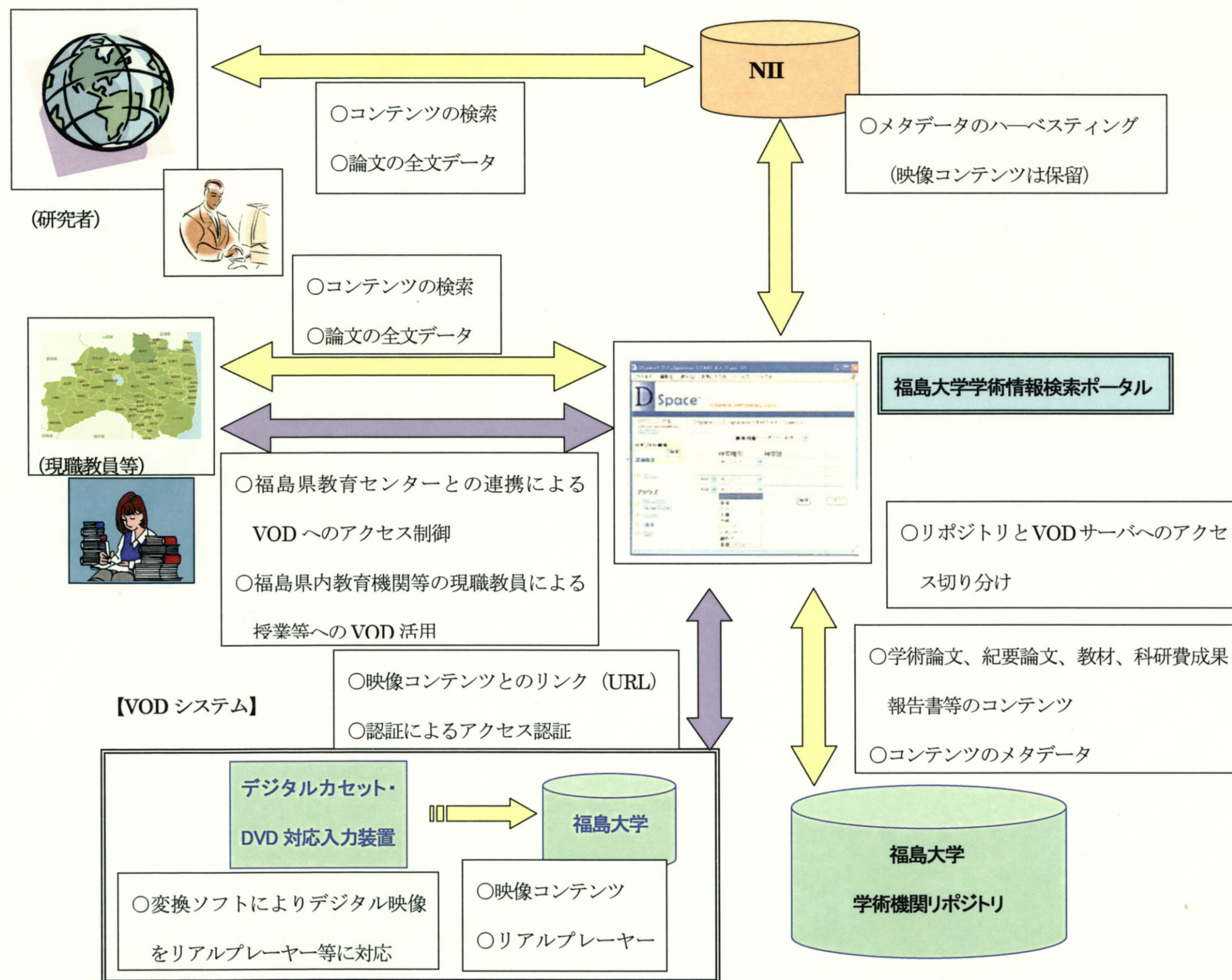
- プライバシー保護、肖像権、個人情報保護、著作権許諾の観点
- 映像記録利用条件等の整備、認証などセキュリティ上の観点
- 映像記録保護及び大容量データの送受信のためシステム上の問題
- NII との関係 ...etc.

リポジトリ推進体制

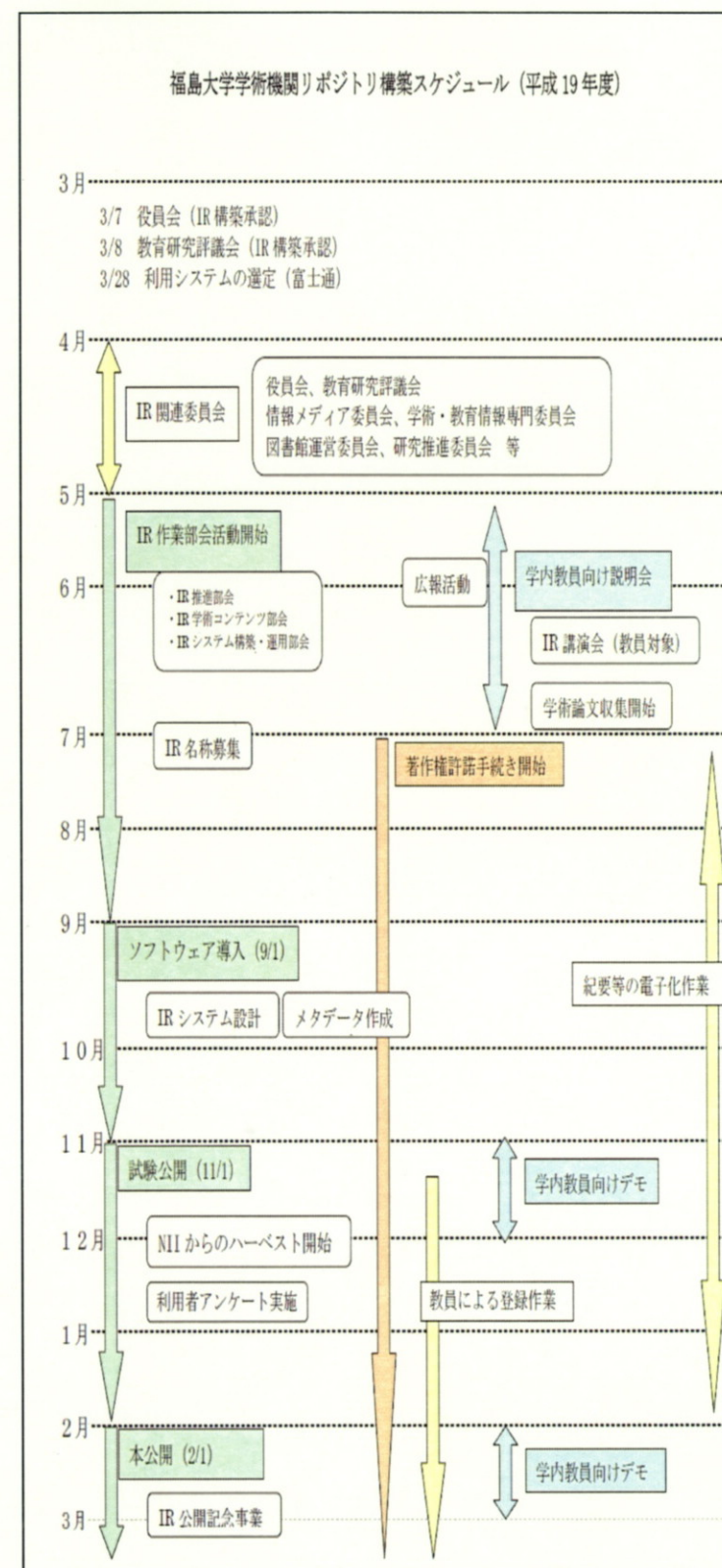
福島大学学術機関リポジトリ運営体制—全学的学術情報収集・組織化・保存・発信に向けて—



VOD 運用システム(実験・実証)について (機関リポジトリとの連携構想)



今後の取り組み



問い合わせ先

福島大学附属図書館学術情報グループ

TEL: (024)548-8082

E-mail: sabisu@lib.fukushima-u.ac.jp